

Program

シューマン
アダージョとアレグロ Op.70

シューベルト
アルペジオーネ・ソナタ イ短調 D.821

ペンデレツキ
無伴奏ヴィオラのための
カデンツァ

ショスタコーヴィッチ
ヴィオラ・ソナタ Op.147

カルテット・テマービレのメンバーとしても活躍中、
ヴィオラ・ブームを牽引する若きヴィオリスト

中恵菜

MEGUNA NAKA VIOLA RECITAL

ヴィオラ・リサイタル

2021.3/20 (土・祝) 14:00開演 (13:15開場) **榎** HAKUJU HALL

全席指定 SS¥4,000 S¥3,500(税込)

[チケット取扱い]

オフィス諷雅 <https://www.officefuga.jp>

チケットぴあ <http://t.pia.jp> (Pコード:189-934) 0570-02-9999

Hakuju Hall オンラインチケット予約 <https://www.hakujuhall.jp>

イープラス <https://eplus.jp>

チケットお問い合わせ: オフィス諷雅 support@officefuga.jp

一般発売

11/21(土)



ピアノ
太田糸音

協賛: Hakuju Hall/株式会社 白寿生科学研究所 主催: オフィス諷雅

©T.Tairadate

「内なる声」を奏でるヴィオラの新星、中恵菜のチャレンジングなプログラム

弦楽四重奏団を思い浮かべてください。2つのヴァイオリンがくっついたり離れたたりで華麗な主旋律を奏で、チェロが低音の土台を支える間にあって、内声を担うヴィオラは徹底的に地味だが、もしも無ければ音楽が体を成さない。甲高いヴァイオリン、重厚なチェロの音が苦手な人もいないわけではないが、人間の肉声に近く、内なる声を代弁するようなヴィオラには誰もが好感を抱くのではないだろうか？

長く「縁の下の力持ち」だったヴィオラに「ソリストの楽器」としてのスポットライトを当てさせたパイオニアはたった1人の日本人女性、今井信子だった。今井以前にもウィリアム・ブリンローズ、ワルター・ランブラー（今井の師）ら名手は存在したが、チェロの巨匠スラーヴァ（ムステイスラフ・ロストロポーヴィチ）と同じく、20世紀の作曲家の多くが新作を献呈、その楽器の表現領域の拡大に貢献した点で、今井の存在は別格だ。今井が世界の同業者を集めた「ヴィオラスペース」を1992年、「東京国際ヴィオラコンクール」を2009年に立ち上げたこともあり、日本は世界屈指の「ヴィオラ大国」「ヴィオラ奏者のメッカ」と目されてきた。

京都市出身、桐朋学園で今井の後輩に当たる中恵菜はヴィオラの国、日本が生んだ新星である。2016年、Quartet Amabileの一員として難関の全ドイツ放送協会連合(ARD)国際音楽コンクール(日本での通称はミュンヘン国際音楽コンクール)弦楽四重奏部門で第3位を得た。2017年には旧東ベルリンのハンス・アイスラー音楽大学へ留学、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団のヴィオラ奏者ワルター・キュスナーの下で現在も研さんを積む。NHK交響楽団首席奏者の佐々木亮や東京クルテットの磯村和英らにも師事、オーケストラから室内楽、ソロまでを網羅したオールラウンドのヴィオラ奏者を目指している。

2021年3月20日、東京・富ヶ谷のHakuju(白寿)ホールで開くリサイタルはシューマン、シューベルト、ペンデレツキ、ショスタコーヴィチと19-20世紀の大作作曲家の名作ばかりを並べたプログラムで、非常にチャレンジングな印象を受ける。

とりわけシューベルト、ショスタコーヴィチ「アルペジオネ・ソナタ」はギターとチェロのハイブリッドのような6弦楽器で、現在では使われなくなったアルペジオネのために書かれ、今日、ヴィオラやチェロなど他の楽器による再現は独自の難しさを伴う。「147」の作品番号を与えたショスタコーヴィチのソナタは1975年8月5日、死の4日前に最終校訂を終えた遺作だ。未完に終わった「オペラ《賭博師》」をはじめとする過去の自作だけでなく、ベートーヴェンの「ピアノ・ソナタ第14番《月光》」の引用まであり、楽曲自体が西洋音楽史のマノラマの様相を呈している。ともに演奏者の力量を測る試金石としてソリスト、室内楽奏者の中のプレゼンテーションには最適の選択だろう。スリリングな時間を期待しよう。

———池田卓夫(音楽ジャーナリスト@いけたく本舗®)



中恵菜 (ヴィオラ) Meguna Naka, viola

1993年生まれ。4歳よりヴァイオリンを、16歳でヴィオラを始め、21歳でヴィオラに転向。桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部卒業。ハンス・アイスラー音楽大学ベルリン マスター課程修了。

Quartet Amabileのヴィオラ奏者として、2016年第65回ARD ミュンヘン国際音楽コンクール弦楽四重奏部門第3位に入賞、合わせて委嘱新作特別賞を受賞。第10回横浜国際音楽コンクール アンサンブル部門第1位、第12回ルーマニア国際音楽コンクール アンサンブル部門第1位、コカ・コーライストジャパン賞を受賞。第4回 宗次ホール弦楽四重奏コンクール第1位。2019年ニューヨークで開催されたThe Young Concert Artists International Auditionsにて優勝。今井信子、マルタ・アルゲリッチ、クシシュトフ・ヤブウォンスキ、ダン・タイ・ソンの各氏と共演。霧島国際音楽祭賞、堤剛音楽監督賞を受賞。

これまでに、ゆらぎの里ヴィオラマスタークラス、ヴィオラスペース、IMUSE Music Festival in Enghien、MMCJ、プロジェクトQ、霧島国際音楽祭、ミュージックアカデミー in みやざき等で研鑽を積む。

テレビ朝日「題名のない音楽会」やNHK-FM「リサイタル・パッシオ」に出演。また東京・春・音楽祭、ヴィオラスペース、宮崎国際音楽祭、霧島国際音楽祭、北九州国際音楽祭、ほか多数出演。CHANNEL Pygmalion Days室内楽アーティスト。Music Dialogueアーティスト。国内オーケストラの客演首席奏者を務める。

これまでに、ヴァイオリンを久保良治、ヴィオラを佐々木亮、ヴァルター・キュスナーの各氏に師事。室内楽を磯村和英、山崎伸子、原田幸一郎、堤剛、徳永二男、毛利伯郎、山口裕之の各氏に師事。

使用楽器は宗次コレクションより特別に貸与されたMontagnana。



太田糸音 (ピアノ)

Shion Ohta, Piano

東京音楽大学を飛び入学し、2020年3月3年次にて早期卒業。現在、名古屋芸術大学大学院音楽研究科に在学し横山幸雄氏に師事。

全日本学生音楽コンクール全国大会第1位、ピティナ・ピアノコンペティション特級銀賞及び聴衆賞、松方ホール音楽賞第1位、マルタ国際ピアノコンクール第2位等多数入賞。国内外でリサイタル出演、オーケストラとの共演を果たす。Warner Music Japanより配信限定アルバムをリリース。CHANNEL Pygmalion Days参加アーティスト。(公財)ロームミュージックファンデーション奨学生、(公財)山田貞夫音楽財団奨学生。

HAKUJU HALL



- 電車:代々木公園駅(千代田線)出口1、代々木八幡駅(小田急線)南口より徒歩5分
- 京王バス:「富ヶ谷」停留所下車徒歩1分 渋谷駅西口バスターミナルより10分 渋63(中野行) 渋64(中野行) 渋66(阿佐ヶ谷行) 渋69(塚塚循環)

※政府からの規制緩和を受けて、前4列以外のお座席は座席間隔を空けずにチケットを販売しております。新型コロナウイルスの感染状況によって、政府からのガイドラインに変更があった場合には、お席の振替をお願いする可能性がありますので、ご了承ください。また、場合によっては、公演の延期ないしは、中止の場合がございますので、公演が近づきましたら主催先のHPを御確認ください。※曲目・出演者などやむを得ず変更させていただく場合がございます。※未就学児の入場はお断りしております。※車椅子席をご希望の方は、チケット申込の際、オフィス調度までお知らせください。※ホール内でのマスクの着用にご協力ください。※開場時のホール入口、およびお手洗いの整列の際には、最低でも前後1m以上の間隔を空けてお並びください。※熱のある方(37.5℃以上目安)、頻繁な咳・くしゃみが出る方、その他体調に不安のある方は、ご来場をお控えください。また来場時に不調のある方、および非接触型体温計による体温確認によって体温の高い方は、入場をお断りさせていただきます。※入場の際、ホール入口に設置の消毒液による手指消毒にご協力ください。※チケットはスタッフが目視で確認し、そのあと、お客様ご自身で右側をもぎっていただき、ホール入口の箱にお入れください。なお、箱に入れる半券には、ご自身のお名前と連絡先を事前にご記入ください。当館が感染経路となった可能性が生じた場合、保健所等関係機関に来場者情報を開示することがあります。※スタッフによるプログラムの配布は行いません。プログラムをご希望の方は、手指消毒の上ご自身の手でお取りください。※飛沫感染防止のため、客席内ではブラボー等の掛け声や、お客様同士の近距離・大声での会話はお控えください。※サイン会は行いません。また、演奏者との終演後の面会時間も設けません。楽屋口での入り待ち、出待ち等はご遠慮ください。※出演者への花束・プレゼント等はご遠慮ください。